

楽しい事
いっぱい!

みんなの日常

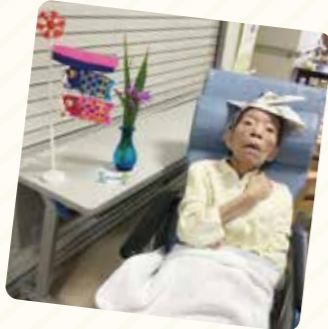


ゆめの里入所

端午の節句

職員が兜を作りました。入所者様は手作りであることにビックリされていました。兜をかぶって鯉のぼりと写真撮影。「わー!!なつかしいわー」と笑顔に。

今度は利用者様と一緒に、色鮮やかな兜づくりに挑戦したいです。



カレンダー作り

月ごとのカレンダーを作りました。



皆さんお手本を見ながら頑張って作られています。てるてる坊主やカエルの顔を書くことが難しかったそうです。

ゆめの里 デイケア

100歳のお祝い

5月に100歳を迎えられた大賀園子様。お誕生日の前日に、利用者様、職員みなでお祝いをしました。

一足先に100歳を迎えられた利用者様と一緒に記念撮影も出来ました。

これからも笑顔お元気にお過ごしいただきたいです。



端午の節句

端午の節句の日は、利用者様と一緒ににおにぎり作り。カットした海苔で兜を作ったり、ウインナーで鯉のぼりを作りました。

食べるのが勿体ないくらいに可愛らしいものができました。



グループホーム えがおをみせて いつもえがおで

お誕生会

3つのユニットそれぞれで入居者様のお誕生日会を行っています。

今回は希望ユニットの古泉様が5月26日に88歳のお誕生日を迎えられ、入居者の皆様とお祝いをしました。皆様から一言ずつお祝いの言葉をもらい、一緒にケーキを食べ、とても嬉しそうな表情をされていました。未来ユニットに入居されているご主人と夫婦水入らずの時間も過ごされました。



デイサービス みらい

玉ねぎ収穫

昨年の秋に苗を植えた玉ねぎを、5月に利用者様と収穫しました。「これ、大きな玉ねぎになるとよ。今年はとても良い出来じゃなあ。味噌汁に何回も使えるよ。」と両手で玉ねぎを持ち上げながら、ニコニコ顔で見せてくれました。

そして、7、8月の収穫を目指して胡瓜、トマト、茄子、西瓜、メロンを利用者様に教えてもらいながら植えました。甘くて美味しい野菜になる様に、水やり、草抜き、肥料をやって大切に育てています。



SUMMER 夏の思い出

夏と言えば、あなたは何を
思い浮かべますか?

奥野 満壽子様



「夏と言えば?」の問いかけに、「夏野菜」と即答。とてもお元気で、まだまだ現役で畑作業に毎日取り組まれています。「今年もトマト、キュウリ、ナス、スイカの苗を植えたのよ」と満面の笑みで教えてくださいました。毎年大きく育った夏野菜を、お孫さんやひ孫さんが美味しく食べてくれるところを見るのが一番の幸せなのだそうです。

坂口 瑤子様



戦時中、沢山いる軍馬の為の干し草を、草刈りして持っていく『夏の宿題』があったそうです。「小学2~3年生のくらいの時で、小さい身体ではいように草取りができなかった。どうにかして持っていけない為、子供ながらにいろいろ考えた。その時車が通ってきた轍に草が捨てられていたのを見つけ、それを袋に包み提出した。」とのこと。幸い先生には草刈りをしていないことはばれなくて済んだそうです。

鳥越 豊子様



「竹の先に糸でくくったオニヤンマを回し、『ヤンマ恋しい』と言いながら寄ってきたオニヤンマを捕まえたり、フナ釣りをしたわ。ミミズを餌にして釣ったフナを焼いたり煮たりフナめしにして食べたんよ。」と教えてくださいました。まな板の上でフナをトントン叩いている音で、近所の人がフナめしを作っているのが分かったそうです。

竹林 豊子様



「自転車の後ろののぼりをつけて、アイスキャンディーを売りに来たんよ。それを買って食べるのが楽しみでとても美味しかったわあ」と思い出のアイスキャンディーを模った作品を手にお話をしてくださいました。

久米井 迪子様

「鳥取県米子市の生まれで皆生温泉によく行ってたんよ。家を出たらすぐ海じゃったから毎日のように泳いどったんよ〜。海で泳いでは温泉に入る、を繰り返していたから84歳になっても肌がツルツルじゃー」と、笑ってお話してくださいました。



永井 常子様

「子供の頃玉野市和田に住んでいたから、バスに乗って渋川の海水浴場でよく泳いでいた事を思い出すわ。」



森岡 久仁子様

「父親が指物大工をしとったから、夏は父親が作った川舟で弟6人とよく一緒に川に泳ぎに行っていたわ。女の子1人だったから弟たちの着替えを手伝って大変だったわ」と、お話ししてくださいました。活発な女の子だったそうです。

